

# 龍谷大学 大学教育開発センター通信

Ryukoku University  
Center of Educational  
Development Report

2014  
01



龍谷大学  
RYUKOKU UNIVERSITY

大学教育開発センター | 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67  
Tel 075-645-2163 Fax 075-645-2190 <http://www.ryukoku.ac.jp/faculty/fd/index.html>  
発行日: 2015年2月 編集・発行: 龍谷大学 大学教育開発センター

■「新入生対象履修相談ブース」の様子



2014, Number 01

CONTENTS

p3

九学部合同学生会主催  
「新入生対象履修相談ブース」活動紹介

p4

学生FDサミット2014春・夏 参加報告

p6

九学部合同学生会主催 学生FDサロン  
「真剣龍大しゃべり場～さあ、講義の話をしよう～」開催報告

p8

新着図書を紹介

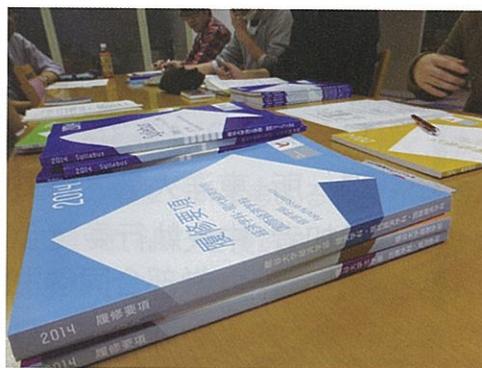
# 九学部合同学生会主催 「新生対象履修相談ブース」活動紹介

九学部合同学生会とは…

学生の正課環境の向上をテーマに活動している学友会組織の一つ。大学教育開発センターでは、2012年度より学生FDサロンを開催する等連携を深めています。

九学部合同学生会では、毎年新生のオリエンテーション期間中に瀬田・深草学舎において履修相談ブースを設置し、新生の履修や講義に関する不安や疑問を受け付けています。ブースでは学部ごとに相談窓口を設け、所属学生が対応できるようにしています。どの講義が単位を取りやすいのか、といった質問に回答する場ではなく、新生に所属学部の教育理念・目的に基づいたカリキュラムを理解してもらい、これから4年間の学修をより実りあるものとなるよう、上回生が自身の経験を踏まえて相談にのる場となっています。

今年度は大学教育開発センター長の長谷川岳史先生も協力し、履修要項やシラバスの読み方等、より具体的なアドバイスを受け、履修相談ブースの運営に臨みました。



履修相談ブースの打ち合わせの様子…

4年間で学生にどのような力を身につけて欲しいか、学生らに説明する長谷川センター長



オリエンテーション期間中、約 250 人の新生が履修相談ブースへ相談に来てくれました。

学部を通して、時間割の見方や履修の取り方・選び方といった相談が多く、九学部合同学生会の学生らも親身になって応じていました。履修相談ブースに訪れた新生からは、「履修要項と照らし合わせながら教えてもらえてよかった」、「ガイダンスでわからなかったところが理解できた」等の感想が寄せられました。

来年度の実施に向けて、国際学部や農学部の新生への対応も検討していきます。

九学部合同学生会が学生FDサミット2014春・夏へ参加しました。学生FDサミットとは、大学教育のよりよい改善と向上のため、全国の大学の学生・教員・職員の三者が取り組む学生主体の企画として、毎年春と夏の2回行われています。日本全国から多くの学生団体、教職員の参加があるため、情報収集や交流の場にもなっています。他大学の学生団体の活動を知ることで、九学部合同学生会の活動の課題点への気づきや、自信を持つことに繋がっています。

## ●学生FDサミット2014春

### 「あなたがつくる、大学最大大作戦 ～めざせ意識改革～」

日 時：2014年3月8日（土）・9日（日）

場 所：東洋大学 白山キャンパス

参加者：中央執行委員会正課局 正課局長 谷本温子さん  
九学部合同学生会 代表 安田浩崇さん



九学部合同学生会  
代表 安田 浩崇さん

今回、初めて学生サミットに参加しましたが、率直な感想としては学生FD活動とはまだまだこれからの発展途上のものだという事です。参加大学によって様々ですが、学生FDが組織されてまだ5年に満たないところがほとんどでした。この部分は龍谷大学にある私が所属する学友会の九学部合同学生会とは大きな違いです。しかし参加団体には何かを変えたい、今よりもっとよくしたいといった向上心は学生さんだけでなく職員さんもとても強く感じました。次回開催の学生FDサミットは、龍谷大学の職員の方も参加して頂くのもいいのではと考えています。FD活動とは1年でなにかが大きく変わることはありません。大学の制度やカリキュラム、学生に意識等はすぐ変わるものではないからです。しかし何か行動しなければ変わることはありません。だから今後も継続的に活動していくために他大学との情報交換や大学側と九学部で連携を密にしていこうと考えています。

## ●学生FDサミット2014夏

### 「あなたがキづく未来」

日 時: 2014年8月23日(土)・24日(日)

場 所: 京都産業大学

参加者: 中央執行委員会正課局 正課局長 谷本温子さん

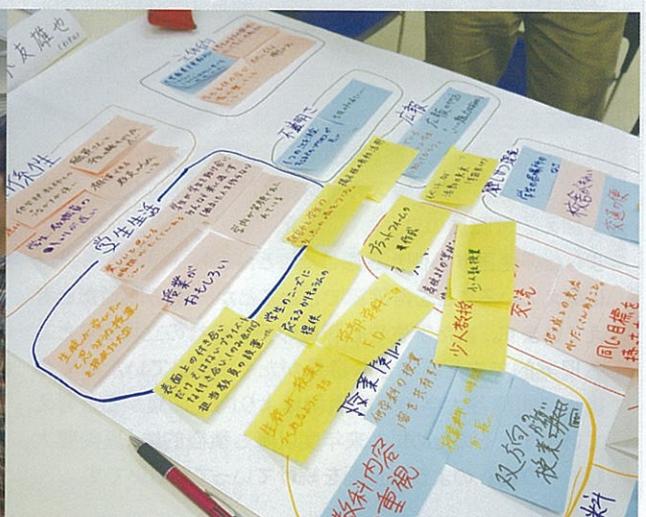
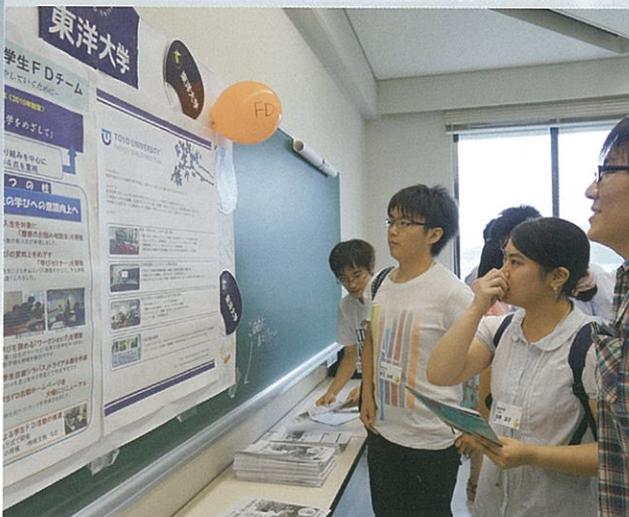
中央執行委員会 田口弘樹さん

九学部合同学生会 石田佳士さん



中央執行委員会正課局  
正課局長 谷本温子さん

全国各地から多くの大学が参加されており、しゃべり場やディスカッションを通して、様々な大学のFDの取り組みについて知ることができました。また、他大学の取り組みを知り、お互いの良いところや悪いところを比較することで、自分たちの活動を見直す良いきっかけともなりました。これからの龍谷大学を良くしていくためには、教員や職員の方々だけではなく、学生も積極的に自分自身の学びの場について考える必要があると思います。これから、少しずつでもFDを浸透させることで教員と職員と学生の三者が連携して龍谷大学を作り上げることができ環境を整えていけたらと、今回の学生FDサミットを通じて感じました。今回のしゃべり場のように、教員と職員と学生が気兼ねなく話し合えるきっかけをたくさんつくっていったらと思います。



龍谷大学学友会九学部合同学生会主催  
大学教育開発センター共催

# 九学部合同学生会主催 学生FDサロン

## 「真剣龍大しゃべり場 ～さあ、講義の話をしよう～」

### 開催報告

～さあ、講義の話をしよう～

2012年度より開始した学生FDサロンも今年で3年目となりました。今年は「大学の講義とは何か？」をテーマに、学生・教員・職員の三者の異なる立場で意見交換を行うという、今までのサロンとは異なる、新しい形式で実施しました。当日は学生25名、職員5名、教員2名が参加し、「講義」に関して様々な観点から意見が出されました。グループ内の意見交換では、印象に残った講義や学生の受講態度、カリキュラム等多岐にわたって話し合われました。グループの意見を踏まえた全体ディスカッションでは、学生の受講態度について、何を学び、得た知識をもって何をするのか(したいのか)を、

学生達があまり理解できていないことから、「授業に参加する」という意識が希薄になっているのではないかと、という問題意識を学生側の意見として発言されたことが印象的でした。

学生は自分たちの「学び」を振り返り、教職員は学生が講義をどのように考えているのかを理解する機会となり、非常に有意義な意見交換会となりました。

今回のFDサロンについて、総司会を務めた九学部合同学生会の安田浩崇さんと石田佳士さんに今回の学生FDサロンを振り返ってもらいました。



九学部合同学生会  
代表 安田 浩崇さん

今回、私は学生FDサロンに参加する側ではなく企画する側でした。今まで、過去2回の学生FDサロンはテーマを固定化せず、形式もグループディスカッション中心だったものを今年はそのことからより龍谷大学生が正課に興味を持ってもらうためにはどうすればいいか考えた結果、今年企画名も学生FDサロンから「真剣龍大しゃべり場」に変更し、グループディスカッションだけではなく全体討議を加え、教職員の方々にも参加してもらうなど工夫を行いました。企画する側から感じたことはどの立場の方も真剣に考えていることを再確認できたことが一番の収穫だと考えています。また学生や教職員のそれぞれの立場からとても現実的でまた前向きな意見がたくさん出ていたので今後、必ず龍谷大学の正課環境はより向上に繋がると考えています。そのためにも来年度以降も積極的に「真剣龍大しゃべり場」のような企画を続けていって欲しいです。

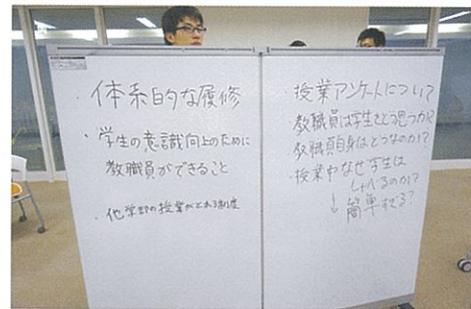




九学部合同学生会  
石田 佳士さん

今回は、司会進行という形で当日の運営を行いました。実際にグループディスカッション・全体討論を通して、学生・教職員の方々と龍谷大学の講義について意見を交わしたのですが、特に印象に残ったのは、学生の授業に対する姿勢についてでした。正課のみに限らず学生のモラルの低下が叫ばれている現在、教職員の方から直接ご意見を耳にできたことは、私自身含め聴いていた学生の意識の変化につながったと思います。

またイベントを通して、学生・教職員問わず、色々な方がたくさん意見を出してくださり、互いの考えを知ることができ、実りある議論ができました。教職員の方と学生が直接意見を交わす機会というものなかなか無いため、今回のような場を今後とも続けていくことが、必要だと感じました。今回の第3回学生FDサロンが今後の龍谷大学のFD活動の発展につながれば幸いです。



## 学生による「学生FDサロン」

大学教育開発センター長 長谷川岳史



2014年10月9日に学生FDサロンが開催されました。学生FDサロンは、学生会選挙で選ばれた代議員で構成される九学部合同学生会が主催するもので、大学教育開発センターの協力のもと、今回で3回目の開催となります。

「学生FD」は、近年、国内で広がりを見せており、学生FD活動や学生参画型FDともいわれ、活動を推進するための学生スタッフを組織している大学もあります。しかしながら、その活動のあり方は多様で、アクティブラーニングやピアサポートと称したほうが相応しいものもあり、「学生FD」の明確な定義がなされている状況にはありません。また、学生スタッフの位置づけも、学生自治組織の有無や既存の学生の主体的活動との関係等によって、各大学で異なっているのが現状です。

本学における「学生FDサロン」は、こういった現状にある「学生FD」を定義して、それを「サロン」形式で開催するというよりも、従来、大学教育開発センターが実施してきた教職員対象の「FDサロン」を「学生」にも公開し、加えて学生にも企画を考慮してもらおう、という発想からスタートしています。

全学協議会において本学の教育に関する問題提起を学生の立場から行うために独自の学生調査等を実施していた九学部合同学生会と全学的なFDを推進している大学教育開発センターが、情報共有のために懇談会を定期的に開催し始めたのは2011年度で、これは現在も続いています。「学生FDサロン」もこの懇談会から生まれた企画で、2012年度は「龍大生が考える龍大生像」、2013年度は「龍大生が考える龍大ブランド～龍大の強みって?」をテーマに開催しています。テーマをみてもわかるように、本学の「学生FDサロン」の特徴は、学生同士が教育に関する認識を共有しながら「学生が学生自身のあり方について考える」ことを第一にしています。

今年度は、「真剣龍大しゃべり場～さあ、講義の話しよう」をテーマとして開催しました。従来は、九学部合同学生会からの呼びかけに応じた学生だけの参加でしたが、今回は教職員の参加も可能となりました。今回の「学生FDサロン」で実践された「講義に対する学生の意識や姿勢」を学生同士が議論することを主眼としながら、教職員の視点からの意見も積極的に吸収していくあり方は、学生による「学生FDサロン」の定着と今後の方向性を示唆するものであったと思います。

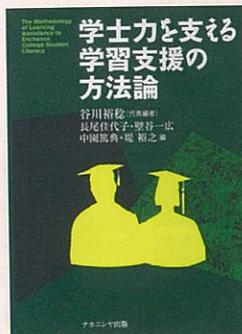
## 新着図書紹介



### ピアチューター・トレーニング ●学生による学生の支援へ

出版年月:2014/3  
編著者:谷川 裕稔/石毛 弓  
編 者:津嘉山 淳子/山里 絹子/長尾 佳代子/  
下坂 剛/壁谷 一広  
出版社:ナカニシヤ出版

各大学で学生同士の学びが進むよう、学生の学習を支援する学生、すなわち「ピアチューター」を養成するために役立つことを目的としたテキスト。ピアチューターを希望する学生の学びに役立つワークブックとして使えるように、基礎知識を得て、ワークを行い、ふりかえるためのさまざまな工夫を凝らしています。ピアチューターとは何か、ピアチューターの実務、教える技術、カウンセリング、スタディスキル、文書管理、リファレンススキルやプロジェクトなど、さまざまな領域を網羅した一冊。



### 学士力を支える学習支援の方法論

出版年月:2012/12  
代表編者:谷川 裕稔  
編 者:長尾 佳代子/壁谷 一広/中国 篤典/  
堤 裕之  
出版社:ナカニシヤ出版

苦闘の中から、結晶化した方法論集。高等教育機関における「学習支援」の枠組みを明確に提示し、「学生の学士力涵養(質保証)」という難題に立ち向かう実践者のさまざまな工夫と多様な事例を多角的に網羅しています。



### 『深い学び』につながるアクティブラーニング —全国大学の学科調査報告とカリキュラム設計の課題

出版年月:2013/4  
編著者:河合塾  
出版社:東信堂

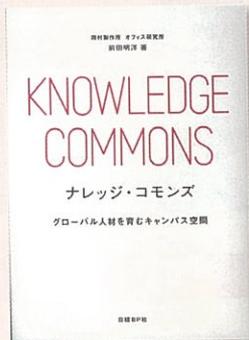
一方通行型の講義のみによる大学教育の限界が指摘され、すでに多くの大学でアクティブラーニングの導入が進んでいる中、単にアクティブラーニングを導入することだけが目的ではなく、いかに学生を「深い学び」に導くのか問われる段階へと到達してきています。本書は、資格系を除く全国の国公私大の952学科を対象に詳細な調査結果および、先進事例の現地調査の報告を掲載している他、アクティブラーニングを探るシンポジウムの全記録を収録し、今後のアクティブラーニングのあり方を提言しています。



### アカデミック・スキルズ 資料検索入門 — レポート・論文を書くために

出版年月:2014/1  
編著者:市古 みどり  
著 者:上岡 真紀子/保坂 睦  
出版社:慶応義塾大学出版会

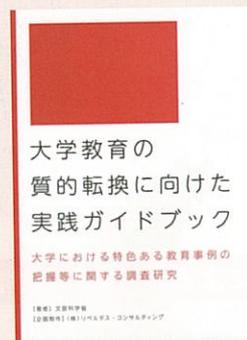
資料検索について大学生に授業を行ってきた大学図書館員が、レポートや論文執筆を行う際に、役立つ情報をどのように調べたらよいかをまとめたものです。自分が書くこととするテーマや考えを固めるために必要な資料(根拠や証拠)を検索し、それらを手するまでの「検索スキル」を身につけてもらうための入門書です。



### ナレッジ・コモンズ —グローバル人材を育むキャンパス空間

出版年月:2013/3  
著 者:前田 明洋  
出版社:日経BP社

グローバル社会のなかで企業が求める人材像は急激に変化しており、その変化に合わせた大学運営を考えたとき、従来の大学キャンパス空間では、優秀な人材を育成するためには乗り越えなければならない多くの課題があります。本書では、認知心理学の観点から、「知識創造」とそのプロセスを導き出し、「知識創造」に最適な空間環境の特性を示した上で、インターネットなどICT環境を駆使した知識創造空間「ナレッジ・コモンズ」の将来像を提示しています。



### 大学教育の質的転換に向けた 実践ガイドブック —大学における特色ある教育事例の把握 等に関する調査研究—

出版年月:2014/8  
著 者:文部科学省  
出版社:リベラルス・コンサルティング

全国42大学の教職員・学生インタビューより、「初年次教育」「キャリア教育」「PBL」「サービラーニング」「反転授業」「ライティングセンター」「TA、SA」「ラーニング・コミュニティ」「FD/SD研修」「コンピテンシー評価」「学修ポートフォリオ」「IR」など、大学教育改革の特色ある107の取組を紹介。平成25年度文部科学省委託調査「大学における特色ある教育事例の把握等に関する調査研究」をまとめたもの。

## 図書貸し出しのご案内

大学教育開発センターでは、高等教育やFDに関する図書を購入し、情報収集に努めています。教職員の方への貸し出し、購入図書のリクエストも受け付けておりますので、是非ご利用下さい。

なお、専任教職員の方につきましては、学内便での貸し出しも可能です。1. お名前 2. ご所属 3. 教員/職員の別 4. 貸し出し希望の書名 5. 著者名を明記の上、dche@ad.ryukoku.ac.jp までお申し込み下さい。